

## 身近な場所に自然がたっぷり

三川合流点の公園化を考える会

五月七日、中ノ口川、信濃川、大通川周辺の生態系を観察する「鷺ノ木水門合流点ウォッチング」が行われました。主催したのは市民グループの「三川合流点の公園化を考える会（高橋裕雄会長）」。

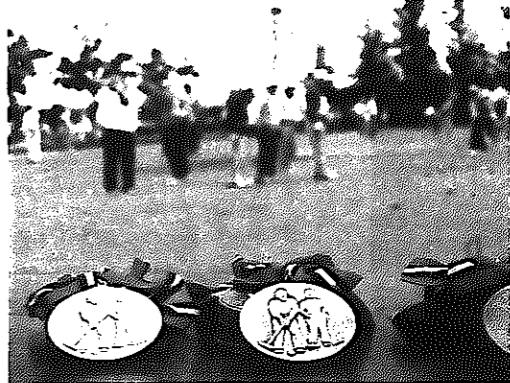
水辺を考える会の会員による水生昆虫や魚、植物などの説明を聞きながら合流点近くの中州までウォッチングしました。参加者たちは水たまりのゲンゴロウやミジンコを観察したり、会員の説明をノートに書き込んだり、「専門家の説明を聞いて観察してみると、普段はただの水たまりだと思っていました、なんだか違った水たまりに見えます」、「まだまだこの辺は自然がたくさん残っているんですね」などとびっくりした様子で話していました。



この日はゴールデンウィーク最後の日曜日で、市内外から親子連れなど八十人余りが参加しました。一行は、午前九時三十分には鷺ノ木水門を出発。「日本白鳥の会」や「新潟ウォッチング」を主催した高橋さんは、中州を従来の公園とは違う「増自然型公園」と呼ばれる公園にしよと提案しています。「増自然型公園」とは、人間が手を掛けるところは最小限にして自然を生かした公園のこと。「中州全体の生体系を見て環境と人間の関わりを考えていきたい」とこれからも観察会や勉強会を行っていく予定です。

## ゲームも交通安全もルールを守って

交通安全ゲートボール大会



五月十三日、第一回白根地区交通安全ゲートボール大会がカルチャーセンターで開かれ、約二百五十人が参加しました。交通事故の犠牲になりがちな高齢者の交通安全意識高揚と健康増進を目的に、白根地区交通安全協会等が主催したものです。県大会ではゲートボール場までの道路横断なども採点対象との説明に選手一同納得の表情。講習後の競技は、楽しい中にもルールを守ったファイナルの続出でした。

## 64年前の白根大火の町を行く

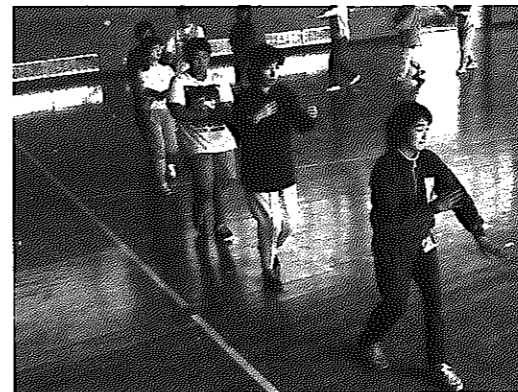
白根分団パレードと演習



白根大火（昭和六年）の日の五月十三日、消防団白根分団と消防署による市街パレードと演習が今年も行われました。六十四年前のこの日、午後八時ころ出火した火事は、旧白根町の中心部をあっという間に焼き払ったといわれています。当時に比べ消防力の発達は目を見張るものがあります。しかし阪神大震災のあの生々しい映像の記憶と、パレードする消防隊の雄姿に、市民もちよっと緊張のこの日でした。

## 上手に踊れる？

茨曾根音頭講習会



五月九日、茨曾根小学校で茨曾根音頭の講習会が開かれました。茨曾根音頭は昭和59年、地区の人の作詞、当時茨曾根小学校に勤務していた先生の作曲で作られたもの。学校や地区の運動会で踊られることから、同校では着任したばかりの先生のために毎年講習会を開いています。今年からは、踊りをよく知らない父兄にも覚えてもらおうと呼び掛け、一緒に練習しました。放課後の体育館には、先生と父兄の間に子供たちも混じって約三十人が踊りの練習に参加。踊りを良く知っている父兄が指導に当たりました。初めて踊る先生や父兄たちは、指導者の踊りをまねて真剣な顔つき。練習の成果は五月に行われた小学校の運動会で披露されました。

## 新通学路で交通安全のリーダーに

白井小児童交通安全指導員任命



白根地区交通安全協会白井支部では、今年春に開校した白井小学校の五、六年生のうち二十人を、児童交通安全指導員として任命。四月二十五日、同校で任命式を行いました。児童交通安全指導員とは、児童間の交通安全のリーダー役。グループでの登下校時に先導を務めたり、交通安全週間には地区の人たちと一緒に街頭指導をしたりします。統合前は旧白井小学校、旧戸

石小学校からそれぞれ三人ずつが任命されましたが、今回は通学路も変わったことから、各集落から最低一人が選ばれるような大幅に増員されました。このような任命を行っている学校は県内でも一二校程度。白井地区では、子供たちの交通安全意識を高めようと、すでに八年前から実施されています。校長室で行われた任命式では、同協会白井支部の中村支部長が「指導員として誇りと自信を持って頑張ってください」と激励。任命書を交付しました。参列した白根警察署の上田交通課長は「去年はこの地区で交通

事故が一件起きました。登校時はまだしも、下校時は解放感で気が緩みがちになるもの。リーダー役として頑張ってください」と、新指導員たちに期待を寄せました。

## ニュースポーツに熱中

大通地区公民館 ニュースポーツ大会

五月十三日、大通小学校グラウンドでニュースポーツ大会が行われました。同大会は「ニュースポーツに親しんでもらおう」と大通地区公民館が主催したもの。子供からお年寄りまで約五十人が体育指導員の指導でニュースポーツを楽しみました。この日行われたのは、ベタンク、タイゲットバードゴルフ、グラウンドゴルフ。どれもゲーム感覚で、誰もが気軽に楽しめるものばかりです。初めてグラウンドゴルフをやってみたという子供たちは、「どこにボールが行くか分からなくて難しいけど、面白い」とすっかり夢中に。趣味はゴルフというお父さんも「ゴルフとはまた違った面白さがありますよ」と楽しそうにコースを回っていました。

## 新成人558人、新たな門出

平成7年度成人式



五月三日、カルチャーセンターで、平成七年度の成人式が行われ、昨年を約三十人上回る五百五十八人が出席しました。今年の新成人が生まれたのは昭和四十九年、五十年。不況が始まった年であり、巨人軍の長嶋茂雄氏が現役を引退した年です。あれから二十年、新成人たちは社会人として新たな門出を迎えました。式典では成人の男女各代表が誓いの言葉を朗読。金子文吉さん（白井）は「郷土発展のため一杯努力したい」、桜井雅代さん（庄瀬下町）は「まちづくりに参加し、白根市の原動力になりたい」とそれぞれ決意を述べました。



## 神楽にびっくり

白井祭り協賛会

白井神明宮春祭りの四月二十五日、白井祭り協賛会が地区の子供たちに、白井地区に百年以上前から伝わる棒踊りと神楽舞を披露しました。同会は「子供たちに伝統芸能を見せよう」とお祭りの五日前から若いメンバーを中心に練習を開始。毎年お祭りの日には、白井保育園・小・中学校へ出向いて踊りを披露しています。神楽が舞い踊る姿に子供たちははきぎ付け。神楽が近づくと、子供たちからは歓声が上がっていました。



身近な情報をお寄せください (企画財政広報広聴係 ☎373・2111)